

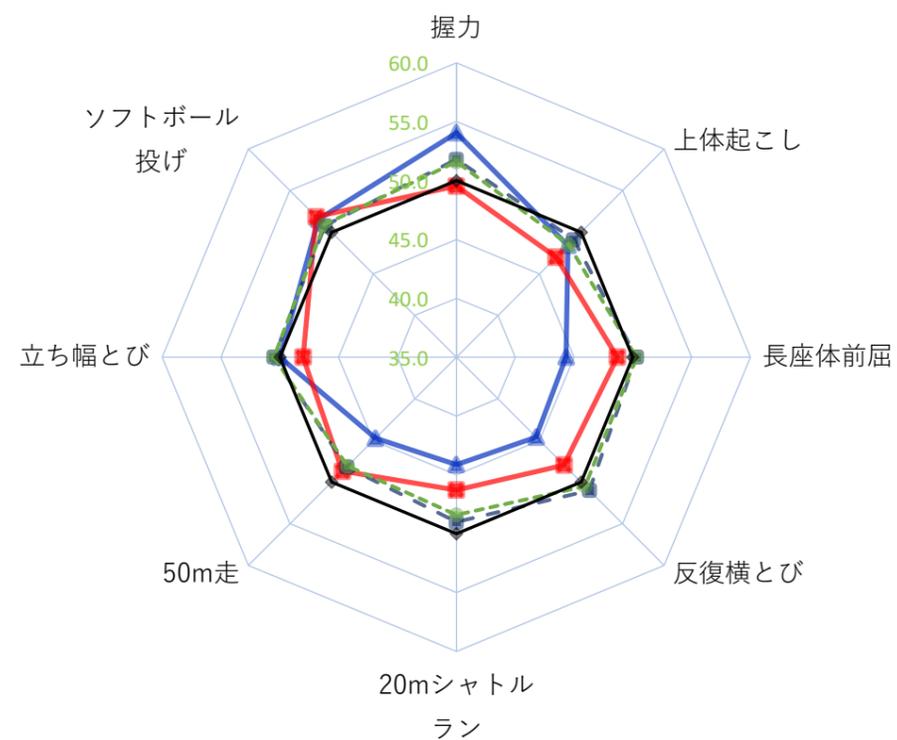
令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 平取町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数: 小学校5校・児童数43名、中学校2校・生徒数24名

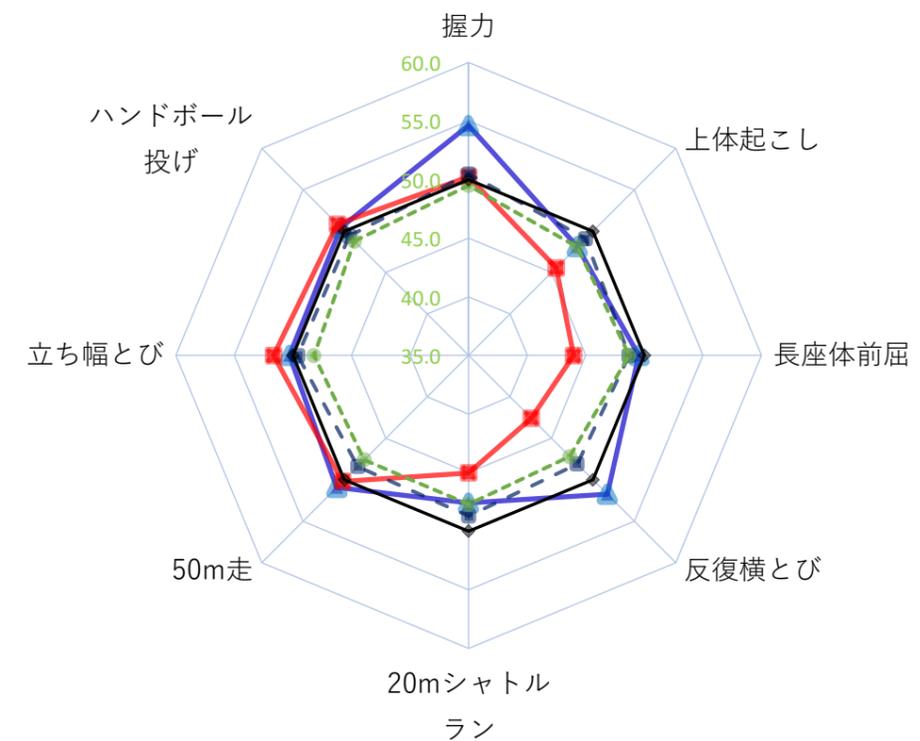
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の全国平均値を50とした場合(T得点)の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで表示

小学校



中学校

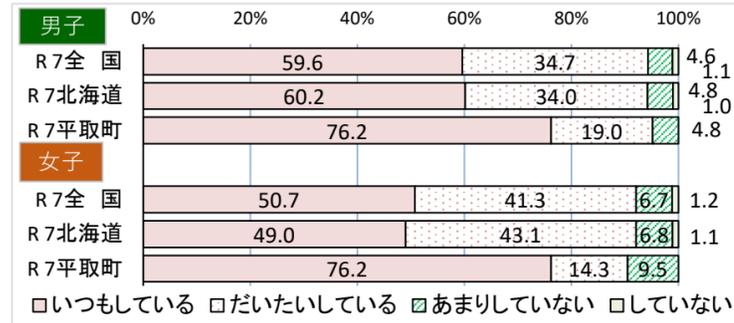


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

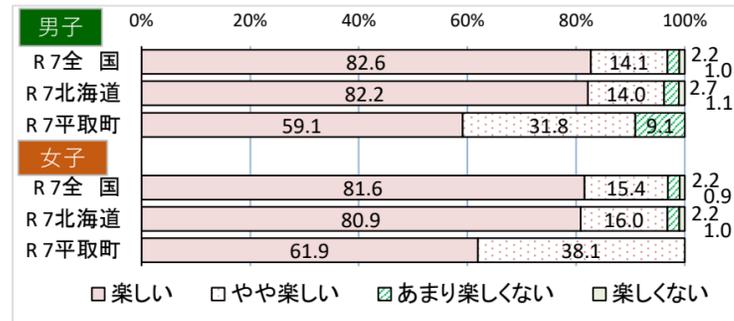
【児童質問調査】

・体育の授業で、進んで学習に参加している。



【児童質問調査】

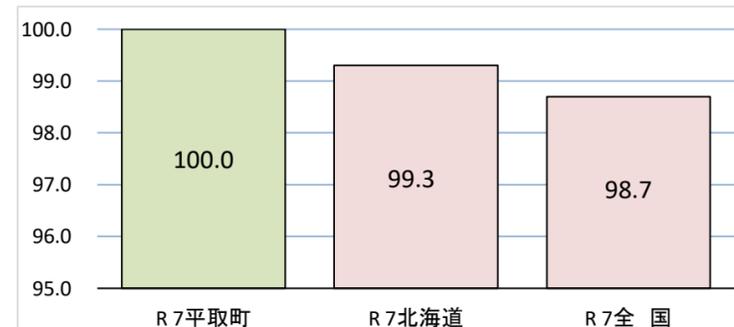
・できなかったことができるようになったとき体育の授業が楽しいと感じる。



【学校質問調査】

小学校

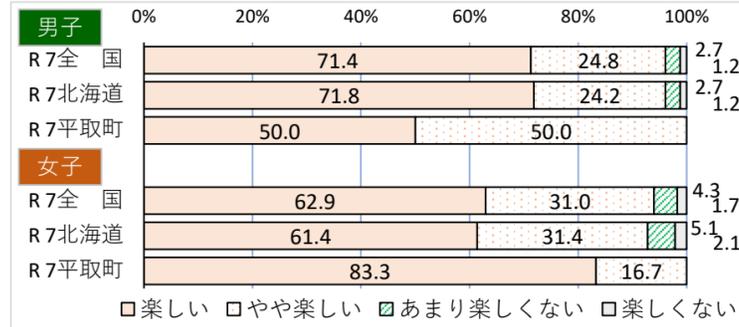
・体育の授業で「体を動かすことの楽しさを実感させること」を大切にしている。



中学校

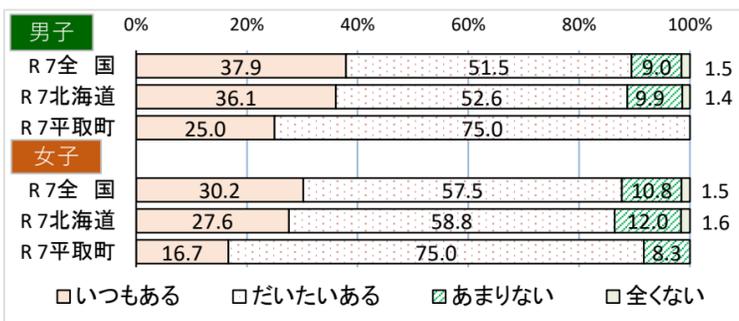
【生徒質問調査】

・友達と交流したり、協力できたとき保健体育の授業が楽しいと感じる。



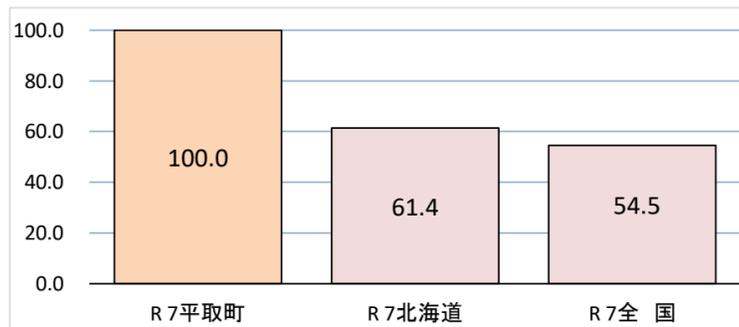
【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかたり」することがある。



中学校

・保健体育の授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れている。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・体育授業において、体を動かすことの楽しさを実感させることを大切にしながら指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「体育の授業で、進んで学習に参加している」と回答している児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、「体を動かすことの楽しさを実感させること」を大切にしながら指導の工夫を行っている割合は高いものの、知識や技能の定着に十分つながっていないため、「できなかったことができるようになったとき体育の授業が楽しい」と回答している児童の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

中学校

【成果】

・保健体育授業において継続的に生徒同士が助け合い、役割を果たす活動を取り入れ、協働的な学習の充実を図った指導の工夫を行ったことにより、「友達と交流したり、協力できたとき保健体育の授業が楽しいと感じる」と肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、保健体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れている割合は高いものの、知識や技能の定着に十分つながっていないため、「友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で『できたり、わかたり』することがいつもある」と回答している生徒の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

■ 平取町の体力向上に向けた改善方策

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上に関する指導の充実
- ・各学校における特色ある体力づくり活動の実施による、運動習慣の定着に向けた取組の推進
- ・体育専科教員を活用した指導体制の充実とICT活用による体育科・保健体育科の授業改善の推進
- ・栄養教諭による定期的な指導及び教育活動全般を通じた食育の推進